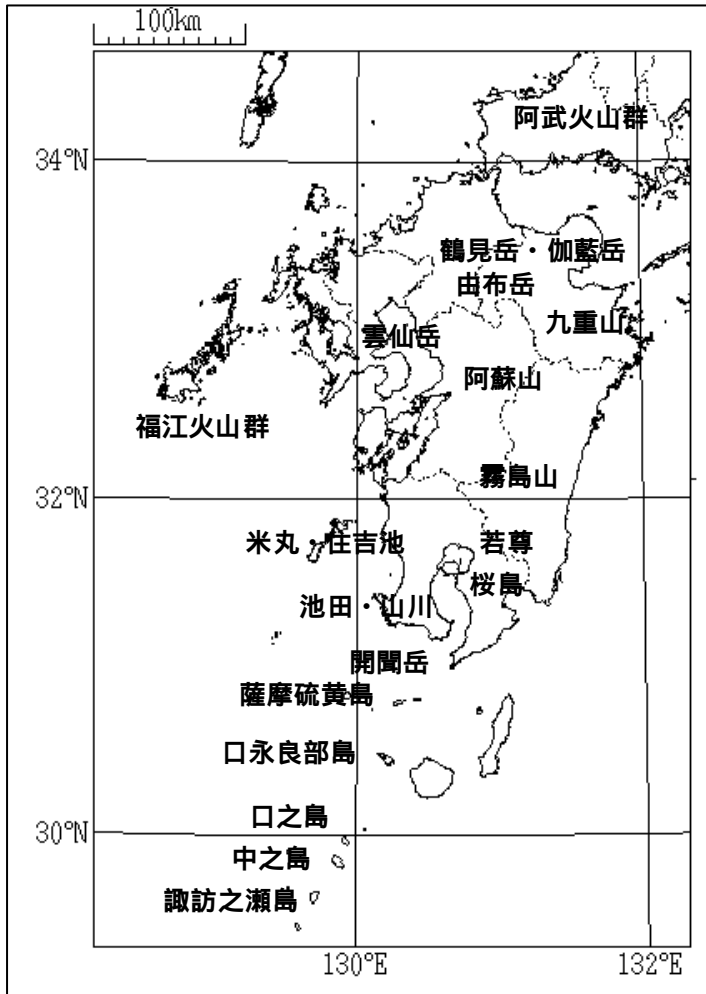


## 九州地方の火山活動解説資料(平成 16 年 11 月)

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター

### 山口・九州地方の火山



- ：噴火した火山
- ：観測データに変化があった火山
- ：解説を記載した火山
- ：その他の火山

：桜島(火山活動度レベル 2)

南岳の爆発的噴火(以下、爆発)が10日と18日にありました。また、6日に南岳直下を震源とする地震があり、島内で有感となりました。

南岳の爆発は本年7月2日以来です。

：諏訪之瀬島

噴火は19日、21日、22日、23日、24日、29日および30日に発生しました。また、火山性微動が時々観測されるなど、火山活動はやや活発でした。爆発はありませんでした。

：阿蘇山(火山活動度レベル 2)

火山活動は、やや活発な状態が続きました。火山性連続微動が12日に発生しました。また、継続時間の短い火山性微動は期間中112回発生し、前月より増加しました。孤立型微動は1日あたり25~81回でした。

中岳第一火口の湯だまりの量は、約8割の状態が続きました。湯だまりの色は、緑色から月の後半は灰緑色に変わりました。湯だまり内では時々噴湯現象が観測されましたが、土砂噴出は観測されませんでした。

：霧島山

21日に御鉢付近を震源とする振幅のやや大きな火山性微動が発生しました。この微動の継続時間は5分でした。また、微動直後に火山性地震がやや増加し21日に10回発生しました。

御鉢火口内の噴気活動は、時折火口縁上に噴気が上がるなど、やや活発な状態が続いています。噴気高度の最高は4日と23日の火口縁上200mでした。

新燃岳の火山活動は静穏でした。

：薩摩硫黄島

噴火はなく、火山活動は静穏に推移しました。噴煙は白色・少量で最高高度は600mでした。

：口永良部島

火山活動は比較的静穏に推移しましたが、中・長期的にはやや活発な状態が続いています。

: 九重山、雲仙岳(火山活動度レベル 1)  
 火山活動に大きな変化は認められず、静かな状態が続きました。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
阿蘇山	火山観測情報第 53 号	5 日 11 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。中岳第一火口の湯だまりは、量が約 8 割、色は緑色。湯だまりの温度は 70。湯だまり内で弱い噴湯現象を確認、土砂噴出はなかった。継続時間の短い火山性微動は 4 日に 2 回発生した。
	火山観測情報第 54 号	12 日 11 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。中岳第一火口の湯だまりは、量が約 8 割、色は緑色。湯だまりの温度は 72。湯だまり内で噴湯現象を確認、土砂噴出はなかった。火山性連続微動が 12 日に発生した。
	火山観測情報第 55 号	19 日 11 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。中岳第一火口の湯だまりは、量が約 8 割、色は灰緑色。湯だまりの温度は 62。湯だまり内で噴湯現象を確認、土砂噴出はなかった。継続時間の短い火山性微動が 12 日から 19 日 09 時まで 23 回発生した。
	火山観測情報第 56 号	26 日 11 時 00 分	火山活動やや活発(火山活動度レベル 2)。中岳第一火口の湯だまりは、量が約 8 割、色は灰緑色。湯だまりの温度は 71。湯だまり内で噴湯現象を確認、土砂噴出はなかった。継続時間の短い火山性微動が 19 日から 26 日 09 時まで 3 回発生した。
霧島山	火山観測情報第 23 号	21 日 08 時 50 分	21 日 04 時 13 分頃、御鉢付近を震源とする継続時間 5 分の振幅のやや大きな火山性微動が発生した。微動発生後から 08 時までに火山性地震は 6 回発生。21 日 08 時現在、御鉢火口縁を越える噴気は確認されていない。

次回の火山活動解説資料の公表は 1 月 11 日(火)の予定です。  
 各火山の詳細については、気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)でご覧いただけます。  
 気象庁 HP 「気象・海洋・地震・火山の資料」「火山の資料」 定期刊行物「火山活動解説資料」  
 ([http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.htm](http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm))